

第3学年C組 社会科学学習指導案

3年C組教室 指導者 石川 智景

1 単元名 伝えよう 八ツ面の宝「きらら鈴」(のこしたいもの つたえたいもの)

2 単元の目標

- ・きらら鈴や松田さんの活動に関心をもち、それらの大切さに気づき、地域に愛着を感じることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・きらら鈴について、松田さんの思いや願いと保存・継承するための工夫や努力とを関連づけて考え、発表することができる。 (思考・判断・表現)
- ・きらら鈴について調べたことをまとめることができる。 (技能)
- ・地域には、文化財や年中行事など、よりよいくらしを願う人々の思いが込められたものが今も大切に伝えられていることを理解することができる。 (知識・理解)

3 単元について

(1) 子どもの姿

本学級の子どもたちは、好奇心旺盛で何事にも意欲的に取り組むことができる子が多い。1学期に学習をした「はたらく人とわたしたちのくらし」のお茶の学習では、近くのお茶畑へ見学に行き、茶摘み体験をしたあと、西尾のてん茶ができるまでを調べた。また、抹茶を使った商品についてパッケージをたくさん集め、「こんなにたくさん、お抹茶を使った商品があるなんて知らなかった」「西尾って、すごいね」という思いをもった。全国一のてん茶生産量の「西尾の抹茶」がこんなにも自分たちの身近にあることに驚き、自分たちの住んでいる「西尾」に対する見方を新たにしたいといえる。

2学期に入り、古い道具とそれを使っていた昔の生活について調べ、当時の人々の「くらしをよりよくしたい、豊かに生活したい」という思いや願いをもとに生活改善のための工夫や努力を続けてきたことを学んだ。この学習を通して、子どもたちは当時の生活や道具の使い道を予想したり、現代の生活と比較したりしながら、地域の人々の生活の変化や思い、願いを知り、昔の人々が生活の向上に努めてきたことについて理解してきている。

(2) 指導の構想

本単元は、単元「かわってきた人々のくらし」を構成する最後の小単元である。

「きらら鈴」は、三河瓦土にきらら(雲母)をちりばめて焼いた土鈴である。かつて八ツ面山では上質の雲母を多く産出し、それを江戸時代末期から土鈴に使ってきた。その八ツ面に伝わる「きらら鈴」を取り上げ、「きらら鈴」を作り続けている松田さんをゲストティーチャーとして招き、「きらら鈴」を作り続ける思いや願いに触れさせることで、地域社会の一員としての自覚をもたせるきっかけにさせたい。また、八ツ面ならではの伝統工芸品を大切に思い、守り続ける気持ちをもたせたい。

つかむ段階では、八ツ面山にきららを見つけに行き、きららについて知り、八ツ面山との関係を調べる。また、家の人にインタビューをして昔からきららが有名だったことに気づかせる。ふかめる段階では、「きらら鈴」を作った6年生に、作品を見せてもらい、作った時の話を聞き、「きらら鈴」に興味をもつことができるようにする。そして、松田さんの工房に見学に行き、松田さんの活動に関心をもち、「きらら鈴」について詳しく一人調べを進めていく。その中で、松田さんの思いや願いと保存・継承するための工夫や努力について、自分なりの考えをもたせる。まとめる段階では、自分たちが調べてきたことや松田さんの話をまとめ、八ツ面の宝「きらら鈴」のことを全校に伝える場を設定する。そして、自分たちの八ツ面に伝わる「きらら鈴」を大事にして生きていく態度を育みたい。

4 単元構想（8時間完了、本時6／8）

つ か む	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">八ツ面山へ行こう(2)</p> <p>○八ツ面山できらきらした石をひろったよ。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きららだよ。 ・雲母っていうらしいよ。 <p>○きららについて知っていることを発表しよう。(1)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">きらら</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">きらら鈴</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">松田さん</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・八ツ面山でとれたんだって。 ・校長室に飾ってあったよ。 ・八ツ面に住んでいる。 ・きらら鈴作りの名人。 ・昔は、薬として使われていたみたい。 ・6年生のお兄ちゃんが作っていたよ。 ・50年間も作り続けているんだって。 	きらら	きらら鈴	松田さん	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">教師の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の目できららを確認するためにきららを探しに八ツ面山に行く機会を設定する。 ・松田さんについての資料を用意する。 ・家の人にもきららについてインタビューして調べることによって、きららについてより興味をもたせる。 ・きららについてわかったことや疑問を共有することができるように、調べたことを出し合う場を設定する。 ・きらら鈴に興味をもつことができるように、きらら鈴を作った6年生に作品を見せてもらい話を聞く場を設定する。 ・作品や材料などたくさんのもを工房に並べて、きらら鈴に興味をもつように松田さんと打ち合わせをしておく。 ・きらら鈴がどのような形で利用されているかを調べることができるように資料を用意する。 ・きらら鈴を持っている、もらったことのある人に話が聞けるようにする。 ・きらら鈴に対する松田さんの思いをわかりやすくするために「大切に」「残したい」「伝える」等を色チョークで示す。 ・松田さんがどのような思いできらら鈴を教えに来ているのか話を聞く場を設定する。 ・「きらら鈴」について学んできたことや、学びを通してわかった松田さんの思いを簡潔にわかりやすくまとめることができるよう助言する。 ・低学年の子にもわかりやすいように写真などを用意させる。
	きらら	きらら鈴	松田さん		
ふ か め る	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">なぜ、松田さんはきらら鈴を作り続けているのだろう(4)</p> <p>○6年生に話を聞いてみよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八ツ面町の松田さんに教えてもらったみたいだよ。 ・思ったより作り方が難しかったらしいよ。 ・すごくきれいな音がするよ。 <p>○松田さんの工房に行ってみよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな大きさのきらら鈴があったよ。 ・すごく値段の高いものもあったよ。 ・粘土で形を作るだけでなく、乾かして焼いて絵つけして、いろいろな作業があるんだね。 <p>○きらら鈴はどんなことに使われているのだろう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所で紹介されていたよ。 ・海外におみやげとして持っていくこともあるんだって。 ・おめでたいときに贈られるんだって。 <p>○なぜ、松田さんはきらら鈴を作り続けているのだろう。 (1) 本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きらら鈴」のことをすごく大切にしている。 ・「きらら鈴」をたくさんの人に知ってほしい。 ・「きらら鈴」をずっと残していきたい。 				
	ま と め る	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">八ツ面の宝、きらら鈴をみんなに伝えよう(2)</p> <p>○全校のみんなにきらら鈴のことを伝えよう。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらら鈴の歴史について ・材料について ・作り方について ・松田さんの思いについて ・作品の紹介 			

5 本時の学習

- (1) 目標 ・ふるさと八ツ面を大事にし、きらら鈴を作り続けている松田さんの思いや願いを自分なりの言葉で表現することができる。

(2) 学習過程

過程	児童の活動	教師の支援
つかむ 5分	<p>1 前時までの学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きららは、昔、八ツ面山でたくさん採れたんだよ。 ・松田さんの工房には、いろいろな大きさの作品があったよ。 ・うちにも「きらら鈴」が飾ってあるよ。 <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ、松田さんはきらら鈴を作り続けているのだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きらら鈴を提示することで、本時の学習に関心をもたせる。 ・今まで調べてきたことを発表しやすいように、写真を提示する。 ・家の人にインタビューしたことも紹介できるように準備しておく。
ふかめる 30分	<p>3 自分たちが考えた理由を発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">松田さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ることが得意だから。 ・きらら鈴が好きだから。 ・きらら鈴をずっと残したいから。 ・八ツ面が大好きだから。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">きらら鈴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八ツ面にずっと伝わっているものだから。 ・きららがあってそれを使ったものだから。 ・きれいな音がするから。 <p>4 松田さんのお話を聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>江戸時代の終わりから作られているきらら鈴は、素朴で優しい音色が特徴。最近海外へのお土産としても重宝されている。その「きらら鈴」を八ツ面小学校のみんなに知ってもらい、八ツ面で暮らしていることに誇りをもってもらいたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・松田さんの思いに迫れるよう、松田さんの写真を提示する。 ・松田さんが50年間きらら鈴を作り続けていることを確認する。 ・「大切に」「残したい」「伝える」等を色チョークで示し、自分たちが考えたことを整理しやすいように板書する。 ・6年生に教えに来ている理由について「次世代につなげる」という点で語っていただけるように松田さんと打ち合わせをしておく。 ・松田さんの話を聞いて、松田さんのきらら鈴に対する思いが書けるようにワークシートを用意する。
まとめ 10分	<p>5 松田さんのお話を聞いて考えたことをワークシートにまとめる。</p> <p>6 まとめたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松田さんは、きらら鈴を大切に思っていて、残していきたいから八ツ面小に教えに来てくださっていることがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座席表を用意し、きらら鈴を守り続けてほしい、残していきたいという考えの子を意図的に指名する。 〈評〉松田さんのお話を聞き、思いや願いについて、自分なりの言葉で表現することができたか。 <p style="text-align: right;">(発言・ワークシート)</p>